

施策名：国内誘客の推進と海外誘客（インバウンド）の加速

事業名	担当課・室名	ページ
国内誘客総合対策事業	観光・地域振興課	1 / 3
インバウンド推進事業	観光・地域振興課	2 / 3
おんせん県おおいた県域版DMO推進事業	観光・地域振興課	3 / 3

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	国内誘客総合対策事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	
				施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速			
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	観光・地域振興課		評価者	観光誘致促進室長 工藤 哲史	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	国内の人口が減少し全国的に誘客競争が激化する中、福岡圏域、関西圏域、首都圏域の三大都市圏において、各圏域における本県の認知度や旅行形態などを踏まえて、大分県観光に関するより積極的な情報発信などの取組強化が求められている。	事業の目的	国内からの観光誘客を図るため、九州・中国・四国、関西・中部、東日本の各エリアの特性を活かし、市町村や民間事業者などと連携した「おんせん県おおいた」のプロモーションやキャンペーン、情報発信を展開する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①圏域別誘客の推進 九州・中国・四国エリア、関西・中部エリア、東日本エリアそれぞれのマーケット特徴を踏まえ、鉄道、フェリー、バス、航空機の各事業者と連携した誘客・プロモーションを実施 委託先：(公社)ツーリズムおおいた ②情報発信 ロケツーリズムの推進、パンレットの作成・配布、ホームページやSNSによる情報発信等 ③団体誘客の推進 MICE誘致推進、教育旅行誘致推進	①	57,527	総コスト	117,376	108,439	
	②	22,440	事業費	97,376	88,439	
	③	10,747	(うち一般財源)	63,681	49,231	
	④		人件費	20,000	20,000	
	計	90,714	職員数(人)	2.00	2.00	

活動指標	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	旅行会社・マスコミ等訪問件数(回)		目標値	100	100		100		63%	教育旅行(農泊のみ)延べ宿泊者数(人泊)		目標値	20,328	21,021			
		実績値	108	105		105				実績値	15,100	16,047		16,047			
		達成率	108.0%	105.0%		105.0%				達成率	74.3%	76.3%		76.3%			
SNS記事投稿数(件)		目標値	244	243		243	25%			目標値							
		実績値	251	298		298				実績値							
		達成率	102.9%	122.6%		122.6%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果	
	県観光ホームページ(日本語版)訪問件数(万件)		目標値	130	130		130		a	観光関係者等と連携した旅行会社等の訪問、誘客につながる情報発信を実施したことにより、目標値を達成することができた。
		実績値	134	151		151				
		達成率	103.1%	116.2%		116.2%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少による国内マーケット縮小 人手不足による供給不安定化 	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 継続・見直し <input type="radio"/> 例外的に継続 <input type="radio"/> 廃止
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> 拡大余地のある国内セグメントへの特化 圏域別の誘客を推進するため、「国内誘客総合推進事業」に組替えて引き続き事業を実施

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	インバウンド推進事業		事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度		政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
				施策区分	国内誘客の推進と海外誘客（インバウンド）の加速		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課（室）名	観光・地域振興課	評価者	観光誘致促進室長 工藤 哲史	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	今後、国内経済の縮小が見込まれる中で、経済成長の著しい東アジアや東南アジアの国・地域の特性やニーズに応じた情報発信・セールスを行うとともに、多言語対応など外国人観光客の受入態勢の整備が求められている。	事業の目的	本県を訪れる外国人観光客を増加させるため、海外に対して観光PR等の誘客施策を行う。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①情報発信・誘客 旅行社・メディア招請、WEB等での情報発信、旅行会社への売り込み、商談会等への参加 ②受入態勢整備 訪日教育旅行の受入態勢整備	①	45,101	総コスト	119,432	80,343	101,597
	②	5,916	事業費	89,432	50,343	71,597
	③		(うち一般財源)	52,389	26,298	41,226
	④		人件費	30,000	30,000	30,000
	計	51,017	職員数(人)	3.00	3.00	3.00

活動指標	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	旅行会社セールス(回) (東アジア、東南アジア)		目標値	16	16	25			88%	旅行会社セールス(回) (東アジア、東南アジア)		目標値					
		実績値	17	25							実績値						
		達成率	106.3%	156.3%							達成率						
訪日教育旅行受入(回)		目標値	13	25				12%	訪日教育旅行受入(回)		目標値						
		実績値	25	25							実績値						
		達成率	192.3%	100.0%							達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
外国人観光客宿泊数(千人泊)	目標値		880	960	1,470		a	東アジアや東南アジアへの継続した情報発信・誘客対策を実施することで、目標値を上回る成果を達成することが出来た。
	実績値		1,387	1,442				
	達成率		157.6%	150.2%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 中国、香港、シンガポール等の高所得者層への情報発信、誘客対策 リピーターに対してより細かい大分県の情報発信 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 韓国に加え、多様なアジアやASEAN諸国からの誘客を促進 高所得者層への情報発信、誘客対策 				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	おんせん県おおいた県域版DMO推進事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	
	総合評価	B		事業実施課(室)名	観光・地域振興課	施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速	
		終了			評価者	観光政策課長 岡田 浩明		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	人口減少による国内観光需要の長期的低迷の懸念、訪日外国人旅行者数が急速に増加する中で、多様化する旅行ニーズに対応した観光メニューの開発や情報提供が求められている。今後、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリ・パラリンピックなど世界の関心が日本に寄せられる中、ますます誘客を促進するためには、観光産業における情報発信や受入態勢整備などが課題。	事業の目的	誘客のための観光素材磨きや情報発信、受入環境整備など観光誘客推進体制の整備を図るため、県域版DMOとして、(公社)ツーリズムおおいたを充実・強化する。 ※「DMO」とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①マーケティング機能の充実 専門人材を配置し、訪日外国人観光客動態調査や国内動態調査、観光マーケティング会議等を実施	①	62,355	総コスト	65,323	85,065	
②県域版DMOプラットフォーム機能の強化 ツーリズムおおいたのグッズ販売や域内の地域企画商品の提供を一元的に管理できるWEB販売システムにより、商品を販売	②	20,085	事業費	60,323	80,065	
③ツーリズム戦略推進会議 ツーリズム戦略に基づき、各種の取組を推進するとともに、進捗状況を管理	③	844	(うち一般財源)	46,894	58,311	
	④		人件費	5,000	5,000	
	計	83,284	職員数(人)	5.00	5.00	

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	自主財源等収入(千円)	目標値	23,000	29,500		29,500		75%	ツーリズム戦略推進会議開催(回)	目標値	3	3			
	実績値	24,300	26,785		26,785			実績値	2	3		3			
	達成率	105.7%	90.8%		90.8%			達成率	66.7%	100.0%		100.0%			
組織内専門人材の確保 [プロパー職員+民間派遣職員](人)	目標値	3	5		5	24%		目標値							
	実績値	3	3		3			実績値							
	達成率	100.0%	60.0%		60.0%			達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
県内宿泊者数(千人泊)	目標値	7,000	7,050		7,050	a	県外及び国外からの大分への訪問意欲が高まるなか、県域版DMOとして、ツーリズムおおいたの組織体制・マーケティング・自主財源確保の機能の充実、関係者と連携した受入態勢整備が県内宿泊者数の増の下支えとなった。	
	実績値	7,350	7,774		7,774			
	達成率	105.0%	110.3%		110.3%			

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> ツーリズムおおいた、地域観光協会や各観光事業者等による効果的・効率的な観光施策の推進 各種データ等の継続的な収集や分析に基づいた戦略的な観光事業の企画や推進ができる専門人材の配置 市町村、地域観光協会、観光関連事業者など多様な関係者が連携のもと効果的なマーケティング・地域マネジメントを可能にする日本版DMOの理念に基づいた組織強化 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 国内・海外への情報発信・誘客さらには地域の魅力的なコンテンツ開発等のため、蓄積が少なかったデータの収集・分析による効果的な事業構築 観光客の満足度を向上させるサービスを担う域内事業者の育成・支援 市町村、域内DMO、観光協会、関係団体等との連携強化 				